

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		スーパー（販売 企画）	来客数の動き	・客数が前年並みとなり、売上点数も若干伸びているので景気は良くなっている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・来客数及び売上も前年より増加している。
		その他サービス [レンタカー] （営業）	販売量の動き	・大型イベントの開催により、受注が好調に推移している。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・夏休みに入り、景気は上向くと予想されたが、今は少し停滞している状況である。暑すぎるのが理由かはよく分からないが、来月から期待したい。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率も3か月前と同様に、前年同月実績を下回る見込みである。ここ最近の予約状況の動きは鈍化しており、前年同月実績を毎月下回っている。
		住宅販売会社 （代表取締役）	販売量の動き	・賃貸投資案件や商業施設の民間工事の受注が好調である。
		住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比7%減、前年同月比14%減と来場組数が減少している。
		商店街（代表 者）	競争相手の様子	・商店街のエリアでは物販店がギリ貧になっている。代わりに小さい飲み屋が多くなり、低単価で勝負しているようで、客の奪い合いを起こしているように見受けられる。
		百貨店（店舗企 画）	販売量の動き	・これまでインバウンド客の免税売上でけん引していたが、中国、韓国の購買がダウン傾向にあり、全館の売上に影響を及ぼしている。また、新規で大型商業施設がオープンし、沖縄全体では小売業は好調だが、足元は苦戦している。
		その他飲食[居 酒屋]（経営 者）	来客数の動き	・例年観光客が増えてくる時期ではあるが、逆に街中や店舗への来店者を見てみると減っているようにみられる。特に例年ほどの韓国人の入客がなく、逆に少しずつ欧米人が増えているように感じる。本土のチェーン店がどんどん入ってきて那覇市以外の地域にも進出してきているので、以前は週末は那覇まで出てきていた人達も自分の地域で満足できる環境になって遠くまで出なくなっている感じがする。
		旅行代理店（マ ネージャー）	それ以外	・取扱量は前年並みで推移しているが、活気がなく、良い要素が今のところない。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・6月以降は商品の値引きサービスが廃止され、販売量が前年比で70%と厳しい状態が続いている。
	観光名所（職 員）	来客数の動き	・韓国のインバウンド客が減少している。	
	x	*	*	*
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業 （総務）	受注量や販売量 の動き	・大手量販店の大型店出店に伴うチラシ特売効果や、旧盆時期が例年より早いことによるセール及早まりもあいまって、実際の売上が前年より増えている。
		窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・公共工事向けは前年比減、民間は工場施設工事などにより前年比増、全体ではほぼ横ばいである。
		輸送業（経営企 画室）	取引先の様子	・景気としては良い状況が変わらずに、横ばいの傾向にあるとみられる。
		会計事務所（所 長）	取引先の様子	・消費税増税も見据え、消費活動は落ち着いている。
		-	-	-
	x	*	*	*
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		学校[大学] （就職支援担 当）	求人数の動き	・本土の企業から求人について大量採用の話もあり、求職者の開拓に積極的に動いている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数は若干増えてきているが、ここ3か月前と比較して大きな変化は感じられない。ただ、那覇新都心の中古マンションの売行きが悪くなっており、空室が目立ってきている。
		求人情報誌製作 会社（編集室）	求人数の動き	・4月の週平均求人件数879件に対し、7月は783件と、96件も減少している。

	学校 [専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・前年同月と比較して求人数がおよそ半分になっている。新卒採用の期間やピーク時がタイトになっているようにみられる。
x	-	-	-